

郵政民営化推進本部（第9回）議事録

1 日時：平成27年5月8日（金）8：11～8：17

2 場所：総理大臣官邸4階大会議室

○総務大臣

皆様、おはようございます。

ただ今から第9回郵政民営化推進本部を開催いたします。ご多用の時間帯に御参集いただき、誠にありがとうございます。

本日は、「郵政民営化の進捗状況についての総合的な検証に関する郵政民営化委員会の意見」の本部長への提出に関する報告及び同意見の国会報告を議題といたします。

まず、議題1の郵政民営化委員会の意見について、御報告いたします。

郵政民営化法においては、同委員会が、3年ごとに、郵政民営化の進捗状況について総合的な検証を行い、その結果に基づき、郵政民営化推進本部長に意見を述べることとされておりますが、去る4月17日に、資料1のとおり意見が取りまとめられ、提出されました。

本意見は、郵政民営化の最も重要なプロセスともいえる株式上場に向けた準備状況や日本郵政グループの現状等について、調査審議した結果を取りまとめています。

具体的には、

- ① 株式上場に向けた準備は着実に進んでいる。
- ② 日本郵政グループは、課題を抱えつつも、サービスや経営の改善に向けて努力している。
- ③ 郵便局ネットワークの活性化により、地方創生への貢献も期待される。などと述べるとともに、株式上場が円滑に進むことを強く望む旨、期待を表明しています。

次に、議題2にまいります。

郵政民営化法においては、郵政民営化の進捗状況についての総合的な検証について、郵政民営化委員会が意見を述べたときは、郵政民営化推進本部がその内容を国会に報告しなければならないとされています。

このため、この意見を当本部より資料2のとおり国会に報告することといたしたいと存じます。

何か、御発言のある方はおいででございますか。

（発言なし）

○総務大臣

宜しいですか。大変ありがとうございました。

それでは、郵政民営化委員会の意見につきましては、本日の閣議に諮った上で、当本部より、国会に報告を行うこととしたいと思いますが、よろしゅうございますか。

(異議なし)

○総務大臣

ありがとうございます。それでは、そのように取り運ぶことといたします。

最後に、本部長であります総理から御挨拶をお願いいたしますが、その前にプレスが入りますので、しばらくお待ちください。

○総務大臣

宜しいですか。

それでは、安倍総理、お願いいたします。

○総理大臣

郵政民営化後、7年半が経過いたしました。この間、株式処分が凍結されるなど、停滞する局面もありましたが、安倍内閣において、西室新体制の下、中期経営計画の策定や株式上場の準備など、民営化は急速に進展しました。

昨年末に発表された株式上場スキームは、日本郵政並びに子会社のゆうちょ銀行及びかんぽ生命保険の同時上場を柱とするものであり、内外の関心と呼ぶ大型上場になると見込まれております。同時に、東日本大震災の復興財源にもなる重要な取組であります。

今回の郵政民営化委員会の意見でも、郵政民営化の進捗状況を検証するとともに、今や希少価値を有するともいえる全国2万4千の郵便局ネットワークによる地方創生への貢献と併せて、今後の株式上場を円滑に進めることへの強い期待が表明されています。

安倍内閣としては、この株式上場を成功させるとともに、郵政民営化の歩みをより確かなものとしてまいります。

関係大臣には、引き続きしっかりと取り組んでもらいたいと思います。宜しくお願いします。

○総務大臣

総理、ありがとうございました。

それでは、これもちまして、本日の本部会合を終了させていただきます。

どうもありがとうございました。